

インドネシア

ジャカルタ上水道第2期計画事業(緊急事業・第1期)



プアラン浄水場

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	15,423百万円 / 15,317百万円
借 款 契 約 調 印	1985年2月 / 1985年12月
借 款 契 約 条 件	金利3.5%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1993年2月 / 1994年12月

[事 業 概 要]

ジャカルタ市東部のプアランに浄水場を新設(緊急事業)・拡張(第1期)するとともに、配水本管の敷設等を行うことにより、ジャカルタ市の給水事情の改善を図るもの。

[評 価 結 果]

ジャカルタ市の上水道は、1970年代より円借款により整備されて来たが、本借款においては、2005年を目標年次としたマスタープランの第2期計画として、緊急事業(45億円)及び第1期事業(109億円)が実施され、プアラン浄水場(5.0m³/秒)の新設・拡張及び、配水管(総延長27km)の整備が1995年に完成した。

ジャカルタ市の上水供給においてプアラン浄水場の占める割合は、1992から2000年の間に18%から53%に拡大し、その間の給水人口は約53万人から約138万人へと増加した。本事業は多くの家庭に飲料水を供給することにより衛生・生活環境の改善に貢献したと評価される。

なお、1998年からジャカルタ市の上水道の運営は民間事業者へ委託され経営効率の改善等の成果を上げている。一方、漏水及び盗水による無収水率の増加が懸案となっており、その防止策の実施と水質の一層の改善を図ることが今後の課題とされている。